

文章を正確に理解するためには、単語がどのような意味で使われているのかを読み取ることが必要です。前後の文、単語のつながりを考えて、どのような意味・用法で使われているのかをとらえましょう。

やってみよう

「解答と解説」

意味や使い方の違う  
助詞や助動詞に気を  
付けよう！



1 **イ** ……イの「の」は、体言の代用をしていて、「こと・もの」に置きかえることができます。ア・ウ・エの「の」は体言に係り、連体修飾語を示しています。

2 **エ** ……エの「られる」は「〜」することができる」という可能の意味を表しています。ア・イ・ウの「られる」は受け身の意味を表しています。他にも、「自然にそつなる」という意味の自発や相手を敬う尊敬の意味で使われます。

3 **ウ** ……ウの「そつだ」は「〜」という話だ。」という伝聞の意味を表しています。ア・イ・エの「そつだ」は「〜」というよつすだ」という様態の意味を表しています。

4 **ア** ……アの「ようだ」は他のものにとえる<sup>ひ</sup>比喩の意味を表しています。イ・ウ・エの「ようだ」は何か根拠があつてそつだと考える推定の意味を表しています。

二

1 **連体詞** ……この単語は、単独で意味が分かり、次にくる「お寺」という名詞(＝体言)を修飾しているので連体詞です。

**形容詞** ……この単語は、単独で意味が分かり、ものの状態や性質を表しています。そして、言い切つたときの言葉の終わりが「い」なので、形容詞です。

**接続詞** ……この単語は、単独で意味が分かり、前の文と次の文をつなぐ働きをしているので接続詞です。

2 **イ** ……イの「が」は、逆接をあらわす助詞です。ア・ウ・エの「が」は主語を表しています。



3 **ウ** ……もともとさおでは星が取れるわけがないのに、それをやめさせるのではなく、より近い位置から取るように指示するところにこの話のおもしろさがあります。